

第2回ジャパンファッションウィーク（JFW）



展示場風景



菅原 リラ氏

JFW が3月17日から24日まで、明治神宮外苑聖徳記念絵画館前特設テントと原宿クエストホールで行なわれた。「東京発日本ファッションウィーク」は第2回目を迎え、東京をパリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドンに次ぐ第5の都市として世界に発信する試みで日本の世界に誇るテキスタイル展示なども含め「創」「匠」「商」の三位一体の連携とその力強い発信を世界に問うことを目的としている。今回初めての試みとして、原宿クエストホールでJFWの合同展示会が10社、12ブランドの参加で行なわれ、TDAに所属するDANS LA VIE（ダンラヴィ）の菅原リラさんが参加している。

菅原さんは1999年、フランス人のアトリエでのプリントデザイナーを経て、オリジナルプリントのDANS LA VIEを設立し、2000年より、オリジナルプリントを使った服、雑貨のラインを立ち上げ、合同展示会AMBIANCE（荒本節子氏主催）で発表。セレクト、AMBIANCEの合同ショップで展開。2002年、ロンドンのFABRIC SHOW、CGアニメ映画、国内外のデザイナーとのコラボレーションなど幅広い活動を経て、2005年の3月、FWコレクションより、パリの合同展WORKSHOPで発表している。菅原さんの作品は、マリアや薔薇などの古めかしいモチーフと現在の東京、パリ、ベトナムetcの風景、リング、ペットボトル、スニーカー、コインランドリーという非常に日常的なモチーフがコンバインされ、独特なビビッドな色彩と共にポップな雰囲気をかもし出している。特にここ3シーズン取り組んでいるビニールコーティングは素材的にプリントとマッチして、ビニールコーティングコート、ジャケット、パンツ、ボストン、ショルダーバッグは人気商品で、パリ、NY、イタリアでも買い付けられ、サンジェルマンデブレやサントノレでのショップ展開も始まっている。このPARISの合同展を主催するファッションエージェンシーWORKSHOPのMme.Laurenceが世界からセレクトして形成する免税店サロンのデザインスタジオの28ブランドにも、日本から唯一選ばれ、ロンドンで大々的にプレスがかけられ、5月にはシンガポールでの免税店サロンへの出展も決まっている。菅原さんは今年初めてパリのモード誌での撮影を納め、編集長、スタイリスト、カメラマンのチームがモデルの為に商品をととても気に入り、親切にしてくれる中で「モデルのバルバラにDANS LA VIEのイメージにととても近く本当にいいチームと出会いました。彼らはクリエイションに深い愛情を持ち私をプリントを媒介にしてモード界の入口に立たせてくれました。これからはプリント的にもモード的にももっともっと洗練を重ね、クリエイションがビジネスに結びつくように頑張っていきます。」と言っている。（滝口 洋子）